

番 号 1

平成22年2月18日

仙北市議会議員 佐藤 峯 夫 様

仙北市議会議員 1番 田 口 寿 宜

		平成22年2月18日 午前10時05分受領	
発 言 通 告 書	発言の種別	一 般 質 問	
発 言 の 要 旨			備 考
<p>1. 有害鳥獣による事故防止対策の強化と共存への取り組みについて 近年、熊による農作物や人への被害が急増している。駆除については、猟友会の方々が行なっているが、会員の減少や高齢化等の問題が出ており、若い方々の加入促進にも取り組まなければと考える。また、竹の子採りの方々や地域住民が安心できる環境を作る必要があると考えるが、市長の考え方を伺う。</p> <p>2. 防災意識の向上策について 異常気象によるゲリラ豪雨、そして地震、私たちは常に災害と背中合わせで生活している。災害から身を守る為には、市民がお互いを助け合う「地域防災力」が重要と考えるが、防災意識の向上策について伺う。</p> <p>3. 少子化対策について 市内には独身男女が多数いる。そして出生数も低下している。多くの方々と連携をとり、出会いの場を創出し、安心して子育てができる環境づくりをリンクさせながら、早急に取り組んで行くべきと考えるが、市長の考えを伺う。</p> <p>4. 観光振興について 韓国ドラマ「アイリス」の放送により、各国から多くの観光客が訪れている。この機会をビックチャンスとして捉え、積極的な営業活動など、仙北市一丸となって取り組むべきと考える。現在の取り組みとリピーターを増やす方策を伺う。</p>			
上記のとおり通告します。			

番 号 2

平成22年2月18日

仙北市議会議員 佐藤 峯 夫 様

仙北市議会議員 12番 真崎 寿 浩

		平成22年2月18日 午前11時52分 受領
発 言 通 告 書	発言の種別	一 般 質 問
発 言 の 要 旨		備 考
<p>◎ずっと暮らし続けたい そんな地域をつくるために</p> <p>①仙北市の観光とは</p> <ul style="list-style-type: none">・住民にとっての観光のあり方とは・住民の観光に対する意識改革について(おもてなしの気持ちは・・・)・農業との結びつきは・抱返り溪谷周辺(夏瀬温泉を含む)の今後の整備について <p>②市民分権の進め方について</p> <ul style="list-style-type: none">・地域力を引き出す地域運営体のあるべき姿とは		
上記のとおり通告します。		

番 号 3

平成22年2月18日

仙北市議会議長 佐藤 峯 夫 様

仙北市議会議員 7番 門 脇 健 郎

		平成22年2月18日 午前10時00分受領
発 言 通 告 書	発言の種別	一 般 質 問
発 言 の 要 旨		備 考
<p>1. 公の施設の指定管理者の指定について</p> <p>2. 若者の定住促進についての施策は、頑張って仙北市に残って働く若者の要望に応えようとする思いやりが必要だ。 欠如していると思われるが、いかがか。</p> <p>3. 高齢者は仙北市の礎を築いてきた。この人達に対する、敬意を表する施策があつてしかるべきと思うが、忘れられているのではないか。考え方を伺う。</p> <p>4. クリオンプールの工事施行について 数回の陳情採択があるが、議会の意志決定と又市民の意志を蔑ろにする行為ではないか。</p>		
上記のとおり通告します。		

番 号 4

平成22年2月18日

仙北市議会議長 佐藤 峯 夫 様

仙北市議会議員 11番 八 柳 良太郎

		平成22年2月18日 午前11時10分受領
発 言 通 告 書	発言の種別	一 般 質 問
発 言 の 要 旨		備 考
1. 観光産業等支援について 緊急経済対策支援について 現下の仙北市の経済情勢は 国の緊急経済対策の内容について 農工商金融支援について 所得アップについて 観光客誘客について 伝承館前公園の利活用について 2. 次世代育成について 男女の出会いの場の創出について 保育所の充実について		
上記のとおり通告します。		

番 号 5

平成22年2月18日

仙北市議会議員 佐藤 峯 夫 様

仙北市議会議員 16番 浅利 則 夫

		平成22年2月18日 午前10時10分受領
発 言 通 告 書	発言の種別	一 般 質 問
発 言 の 要 旨		備 考
<p>1. 旧角館町国保会計における過小課税問題について、まだまだ不明な点が多々ある。</p> <ul style="list-style-type: none">・より詳しい実態調査を実施し、市民納税者が納得できる説明と報告が必要である。・国への返還金 23,193,140 円はどう考えても納税者が負担すべきものではないと考える。 <p>これらのことについてご所見と今後の対応についてを伺う。</p> <p>2. 市消防団員の報酬について 国は消防団員一人当たり年間 36,500 円の報酬費を交付していると聞く。適正な報酬費に改善すべきではないのか。見通しの是非についてを伺う。</p> <p>3. 西木町のにこにこ保育園を認定こども園に移行するためにされたこれまでの検討内容と今後、認定こども園とする取り組みについてご所見を伺う。</p> <p>4. 今春設置を予定している「総合産業研究所」へは期待する。農家と研究所とをどうつなげていくのかご所見を伺う。</p>		
上記のとおり通告します。		

番 号 6

平成22年2月18日

仙北市議会議員 佐藤 峯 夫 様

仙北市議会議員 17番 狐崎 捷 琅

		平成22年2月18日 午前11時58分受領
発 言 通 告 書	発言の種別	一 般 質 問
発 言 の 要 旨		備 考
1. 「仙北市明日の高校を考える市民会議」に関する質問 質問1 委嘱する12名の内訳 質問2 公募する6人の選考基準 質問3 委嘱する12名に対し公募6人は少ないのではないかと、市民の声を聞くとすれば12名ぐらいが適当でないか。 質問4 4月にスタートして6月までに方向性を出すとすれば拙速を認めないのではないかと、どうしてそんなに急ぐのか。 質問5 4月スタートというが、校長、PTA会長は異動で実質機能するか。 質問6 第6次整備計画案で仙北市の意見を反映させたいというが、議会の教育民生委員との関係はどうか。 質問7 市長自身は、仙北市における高校教育のあり方はどうあって欲しいと思っているか。 質問8 会議は公開にし市民が傍聴できるようにし、日時も土、日の昼にすべきではないか。		
2. 行政と市民や地域との協働について		
3. 駒ヶ岳の噴火の観測体制と風評被害について		
4. 東北農業研究センターで開発された血糖値の上昇が緩やかになる米「紅衣」を地域の特産品に出来ないか。		
上記のとおり通告します。		

番 号 7

平成22年2月18日

仙北市議会議員 佐藤 峯 夫 様

仙北市議会議員 13番 田 口 喜 義

		平成22年2月18日 午前11時55分受領
発 言 通 告 書	発言の種別	一 般 質 問
発 言 の 要 旨		備 考
<p>1. 市立病院について</p> <ul style="list-style-type: none">・策定委員会の最終報告に基づいて、年2回の点検・評価を行なうことになっているが、内容をどのように市民に公表するのか。・テナントドクターズ制度について 現在のルールの中で可能な制度なのか。・温泉療法について 温泉療法医・温泉療法士の育成と温泉療法をどのような考え方で進めるのか。・障害者病棟の継続と夜間急患対応について 医師確保の中で継続と時間延長等が可能なのか。 <p>2. 市民生活について</p> <ul style="list-style-type: none">・生活の基本である市民の交通確保について 高齢化に伴い一人暮らしや老夫婦の方々の病院・買い物等のサポートについて・暮らしやすい、住んでみたい、健康で生きがいを持てる仙北市であるべきと考えるとき、働く場がある、税が安いなどの条件のもとで固定資産税や市民税の引き下げはできないか。 <p>3. 行政組織の条例改正についての基本的な考え方について 職員の人数、予算の規模・重要政策等、重視する基準は何か。</p>		

- | | |
|---|--|
| <p>4. 教育委員の選任について
教育長不在の中で予算・人事等行なうことになったが、教育行政に影響はなかったのか。</p> <p>5. 外国人観光客誘致について
田沢湖高原等にある空き施設を活用できないか。</p> <p>6. きめ細やかな市民への情報提供が効率的な行政運営の基本と考えるとき、具体的な予算の内容と具体的な政策を市民に伝えるための手段として広報の他に考えていることは何か。</p> | |
|---|--|

上記のとおり通告します。

番 号 8

平成22年2月17日

仙北市議会議長 佐藤 峯 夫 様

仙北市議会議員 4番 小田嶋 忠

		平成22年2月17日 午前11時50分 受領
発 言 通 告 書	発言の種別	一 般 質 問
発 言 の 要 旨		備 考
1. 福祉施設養護老人ホーム「角館寿楽荘」及び特別養護老人ホーム「かくのだて桜苑」の民営化について ・ マニフェストを着実に実行するため施策が展開されますが、民営化推進は市民の皆様にご約束したマニフェストに項目があったのか伺います。 ・ 民営化しなければならない理由を伺います。 2. 時短について ・ 何時頃を目途に実施するのか伺います。		
上記のとおり通告します。		

平成22年2月15日

仙北市議会議長 佐藤 峯 夫 様

仙北市議会議員 20番 田 口 勝 次

		平成22年2月15日 午後 4時49分受領	
発 言 通 告 書		発言の種別	
		一 般 質 問	
発 言 の 要 旨			備 考
<p>1. 高齢社会のまちづくり構想について</p> <p>2. 観光資源の掘り起こしについて</p> <p>3. 駅周辺の活性化と整備について</p> <p>1. 高齢化率がどんどん進む中、まちづくりの基本となることは「安全・安心の生活環境」と思います。高齢者世帯や一人暮らし世帯が増えている中で、特に冬期に係る生活対策が非常に大切な課題と思います。交通事故死をはるかに上回る雪にまつわる事故死を考えると、冬対策をきめ細かに考える必要がある。地域それぞれの内情を分析し、それぞれの対応に努める必要があると考えるがいかがか。</p> <p>2. 観光商工部に行政組織を衣替えすべきことを何度も訴えたが、中々実現できなかった。これを断行した門脇市長の今後の手腕に期待するものである。</p> <p>「桜と武家屋敷」、「湖と温泉」をメインとして、これまで観光を売り物にしてきたが、もはや集客に限界が見られる。</p> <p>今後の仙北市の産業と経済を考える場合、観光は大きなウエートを占める。具体的な取り組みが求められるが、観光関係者による施策はもちろん必要だが旅行者の生の声を施策に取り入れるべきと思う。観光立市の体制構築が先ず必要でないか。各種選定した人材確保の対応策を複数回重ねるべきだ。先ずは人づくりではないか。先にまちづくり研究所が行なった「蔵伝」について、仙北市として蔵の保存や利活用にどのような考えをお持ちか、事業の評価を含め市長の感想を伺いたい。</p>			

3. 駅前、駅通りの現状をどのようにとらえているか。このままでよいとお考えか。特に通学生のいない駅前、駅通りが閑散としている状況を見てどのように思うか。

一つは内陸線の乗車率アップに向けた取り組みや新幹線対応の利便性につながる施策を展開すべきと思う。

二つ目は駅前に市立角館総合病院を移設したらどうか。

三つ目は駅前の観光蔵の利活用を再検討したらどうか。

四つ目は駅周辺の既存アパートが利便性のある高齢者専用住宅として活きる施策が必要と思う。

次に駅東西通路の整備だが、調査に入ることになっているが、どのような計画になっているか。その具体的な整備方針を伺いたい。実現するにはどのような事業手法が考えられるか。現在JRでは青森新幹線開業に備え、ホームの拡張工事を行っているが、駅東から仮設道路取り付け工事をしている。市民は東西通路の工事と勘違いしている人が多い。情報は行政と市民が共有すべきだ。

次に県道広久内・停車乗線の改良についてだが、JRは管沢踏切の改良は終わったと知っているが、県や仙北市が道路改良が必要とあれば、協議に応じるとしている。交通量調査は数え切れないほど行っているが、具体的な説明は未だない。この間にこの沿線で交通事故が頻発している。仙北署は最も事故の多い路線と指摘している。特に車両は踏切で停止されることから立体交差化されている路線を通るため、減少している。買い物客や通学生の自転車等の危険性が增大している。歩道が狭隘なことが大きな要因である。またこの沿線は羽後交通から踏切間が8本、踏切から105号間が6本の分岐路線がある。危険極まりない道路事情であることは県も市も解っていると思う。なぜ部分改良にも手が施されないのか不思議な話である。しかもワンダーモールやパワーという大型店、アパートの新築など住宅街形成を考えると緊急な整備が必要といえる。

仙北市の考え方、県の考え方を伺いたい。

合わせて105号との変則交差点の改良についての考えを聞きたい。どのような状況であれば、県施工で実現できるか。仙北市は県が動くまで黙って待っているのか。なぜ情報等が地域に説明されないか。行政不信に地域は陥っている。

上記のとおり通告します。